九月一日 防災の日

地震を感じたら火の始末

地震は一瞬にして建物、道路等を破壊します。同時に、多くの火災が発生し、大きな被害をもたらします。

地震被害を最少限にとどめるには、防火の備えと初期消火が大切です。

九月一日の防災の日を前に、町内に住む五十人を無作為に抽出し回答していただきました。

その結果一番心配される火の始末は五十人中全部が、まず第一に火の元を消す。その後安全な場所へにげると回答。

いざという時の為に家族での話し合いでは、話し合ったことがあると回答した人は十七人で全体の34%でした。

また、非常用品の確保と町内の避難場所を知っているかという問では、備えてない、知らないと答えた方がおおかったです。これらを参考にして、お宅でも今一度、いざという時の為に家族皆んなで話し合って、お宅にあった計画を立ててはいかがですか。

回答いただいた結果は次のとおりです。

アンケート調査結果

◎いざという時の為に家族で話し合ったことがありますか。

ある……17人
ない……33人

◎あなたのお宅では万一に備えて非常用品の確保をしてありますか。

食料品・医薬品等非常用品は備えてある……11人
医薬品だけ備えてある……13人
何も備えてない……26人

◎地震が来たらまず第1に何をしますか。

火の元を消す、その後で安全な場所ににげる……50人

◎町内の避難場所をご存知ですか。

知っている……17人
知らない……33人

町内の避難場所は次のとおり指定してあります！

日吉小学校
南条小学校
東陽小学校
白浜小学校
光中学校
光町体育館

地震の心得10カ条

○まずわが身の安全を図れ
○すばやく火の始末
○火が出たらまず消火
○あわてて戸外に飛び出すな
○狭い路地、へいぎわ、がけや川べりに近寄らない
○山崩れ、がけ崩れ、津波、浸水に注意
○避難は徒歩で持ち物は最少限に
○協力しあって応急救護
○正しい情報をつかみ、余震を恐れるな
○秩序を守り、衛生に注意

避難計画

地震の震度の状態…ご存知ですか!!

震度0（無感）	地震計には記録されるが人体には感じない。
震度1（微震）	とまっている人や、地震に敏感な人だけに感じる。
震度2（軽震）	大勢の人にも感じ戸や障子がわずかに動く。
震度3（弱震）	家屋がゆれ戸や障子がガタガタ動きつるしてある灯がゆれ動く。
震度4（中震）	家が激しく動き、多くの人は外に飛びだす。
震度5（強震）	壁にヒビが入り瓦はかなりくずれる。老朽家屋はかなり破損する。
震度6（烈震）	立っていられない。地割れが起る。
震度7（激震）	家屋は30%以上倒れる。山崩れ断層ができる。